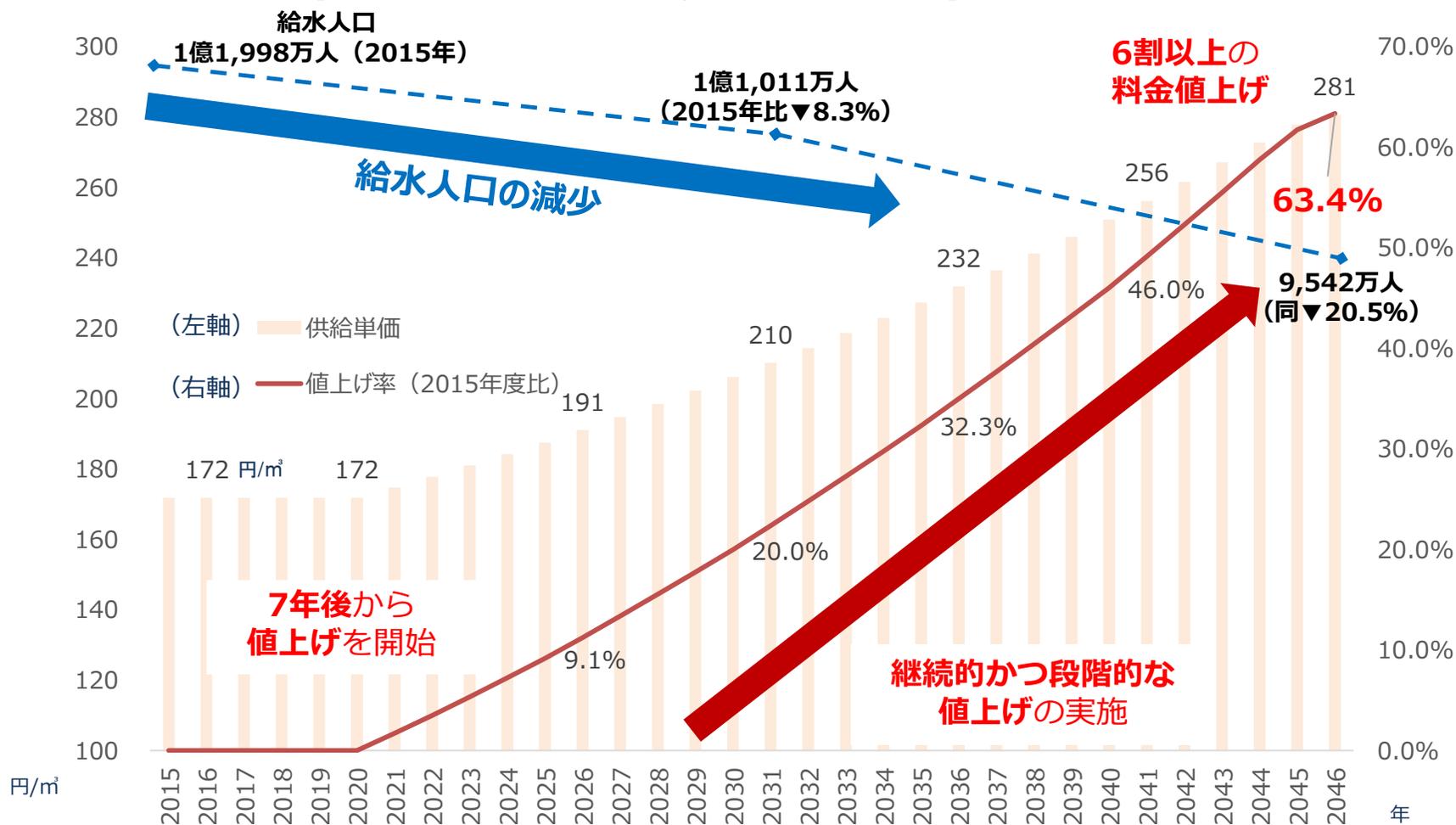


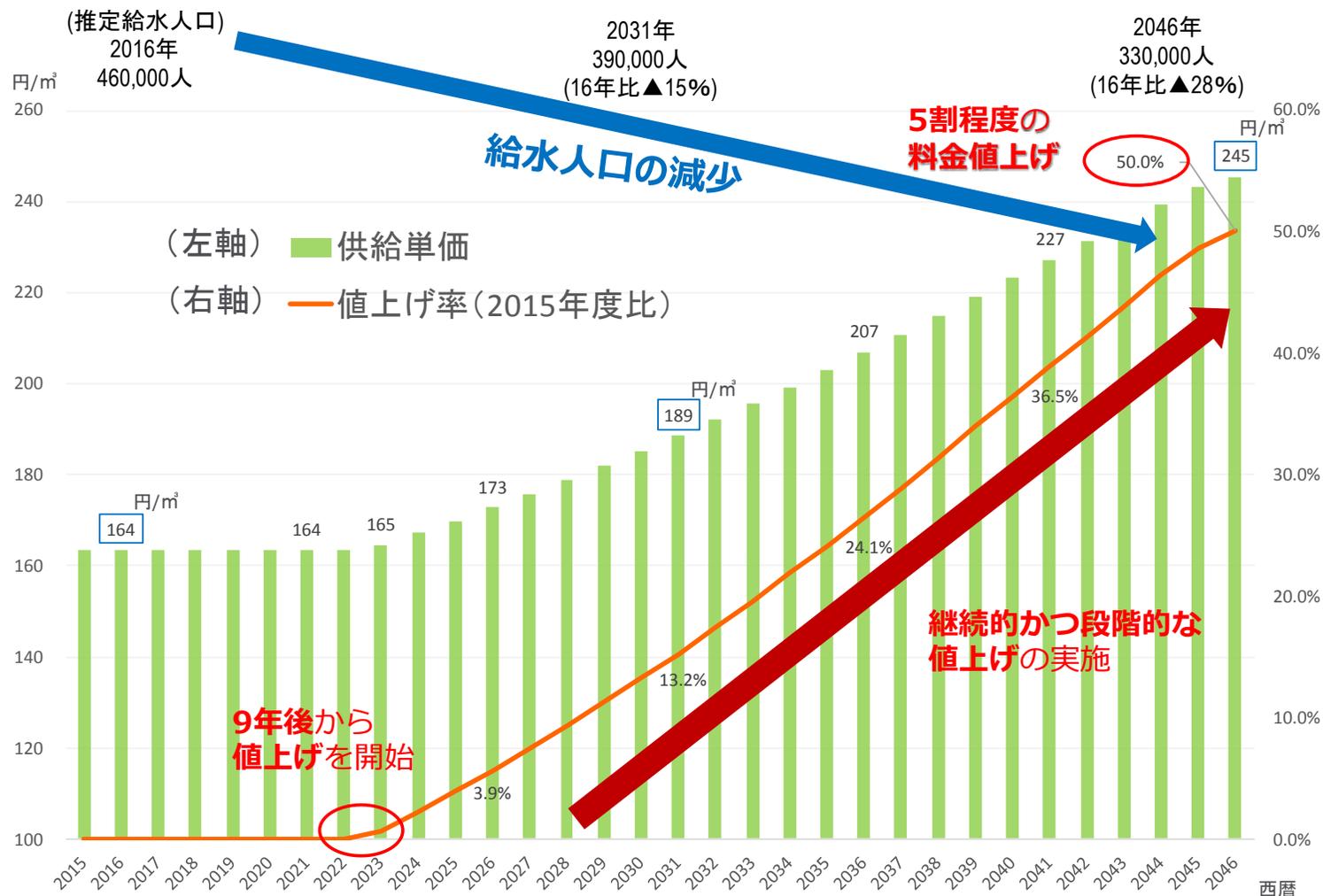
わが国水道事業の将来シミュレーション ～①全国末端集計～

人口減少、設備更新対応により、**30年後には6割以上の料金値上げが必要か**
(債務残高も2倍近くに増加見込み) ※DBJ試算



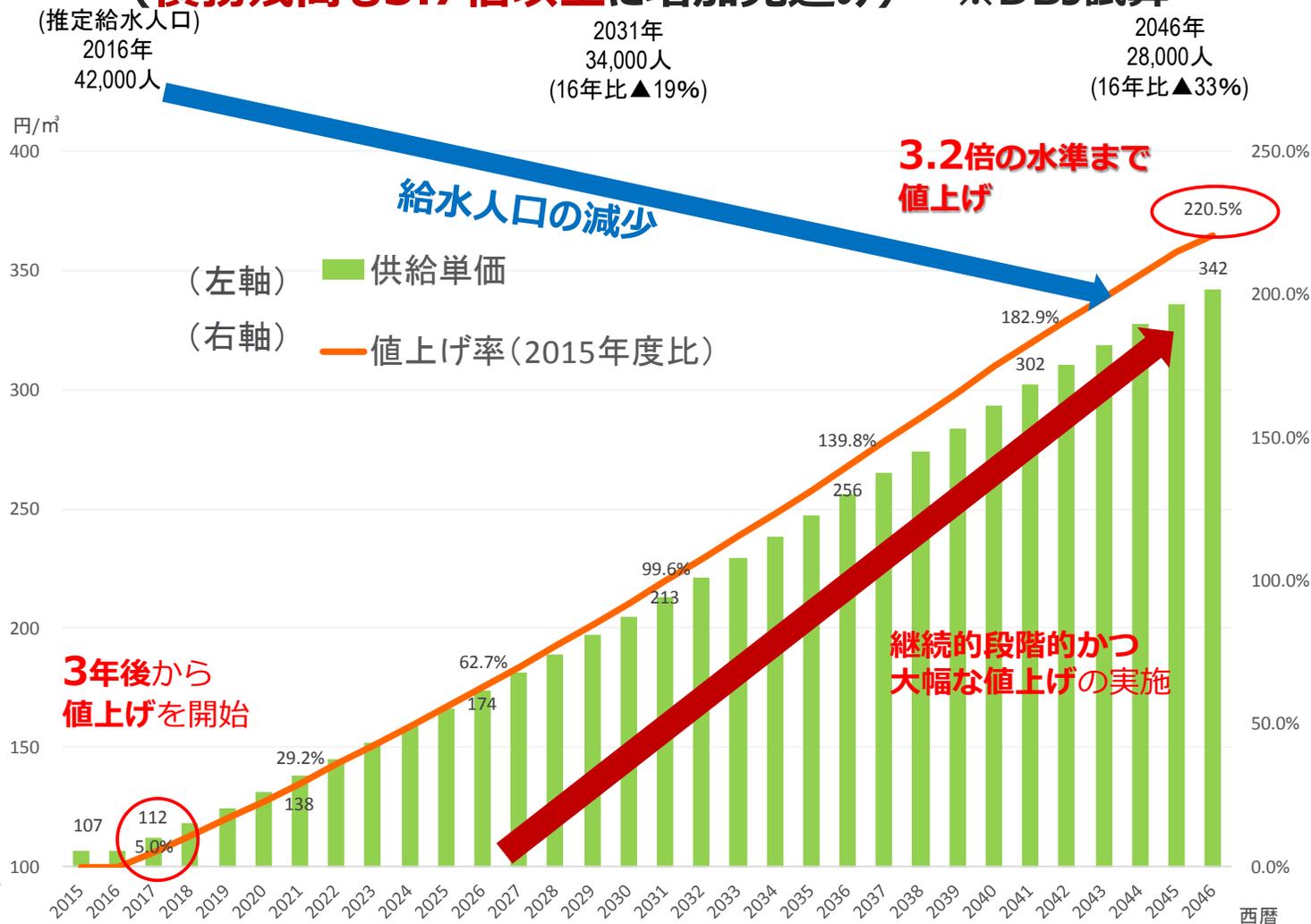
わが国水道事業の将来シミュレーション ～②中核市X市～

30年後には5割程度の料金値上げが必要か
(債務残高も2倍以上に増加見込み) ※DBJ試算



わが国水道事業の将来シミュレーション ～③農村都市Y市～

30年後には3倍以上の料金値上げが必要か
(債務残高も3.7倍以上に増加見込み) ※DBJ試算



わが国水道事業における課題 ～総括～

国内水道事業体の数の多さ (1,348団体) + 現状の諸課題 + 将来予測



「広域化」と「(進化した)官民連携」が重要



行政レベルでの広域化の難しさ



「官民連携を通じた(梃子とした)実質的広域化」

※ 地域の実情に応じたソリューションが必要

大都市	中核都市	一般都市
<ul style="list-style-type: none">□ 人口100万人超□ 技術・運営に高いノウハウあり	<ul style="list-style-type: none">□ 人口十数万～数十万人□ 技術・運営に一定程度のノウハウ、官民連携活用にも実績	<ul style="list-style-type: none">□ 人口数千人～数万人□ 単体による経営に限界、技術承継に課題あり